

# 令和元年度における 環境目標達成状況

令和2年6月  
ISO事務局

環境目標達成

環境目標未達成かつ前年度数値より改善

環境目標未達成かつ前年度数値より悪化



令和元年度

平成30年度

			令和元年度	平成30年度
各課共通 項目	1	第3次調布市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の 目標達成		
	2	環境確保条例に係るCO <sub>2</sub> 総量削減義務制度対象施設の 光熱量に伴うCO <sub>2</sub> 排出量の削減		
	3	グリーン購入の推進		
管財課 項目	1	電気使用の抑制		
	2	ガス使用の抑制		
	3	水道使用の抑制		
	4	可燃物排出量の抑制		
	5	資源化に適さない可燃物排出量の抑制		
	6	不燃物排出量の削減		
	7	資源化に適さない不燃物排出量の削減		

## 各課共通項目

# 市の事務事業の CO2排出量削減

目標：市の施設や車両から排出される温室効果ガス  
総排出量を平成26年度実績(14,859t-CO<sub>2</sub>)から2.6%  
削減

### 【平成26年度と比較したエネルギー使用増加要因】

#### ①空調使用状況の変化

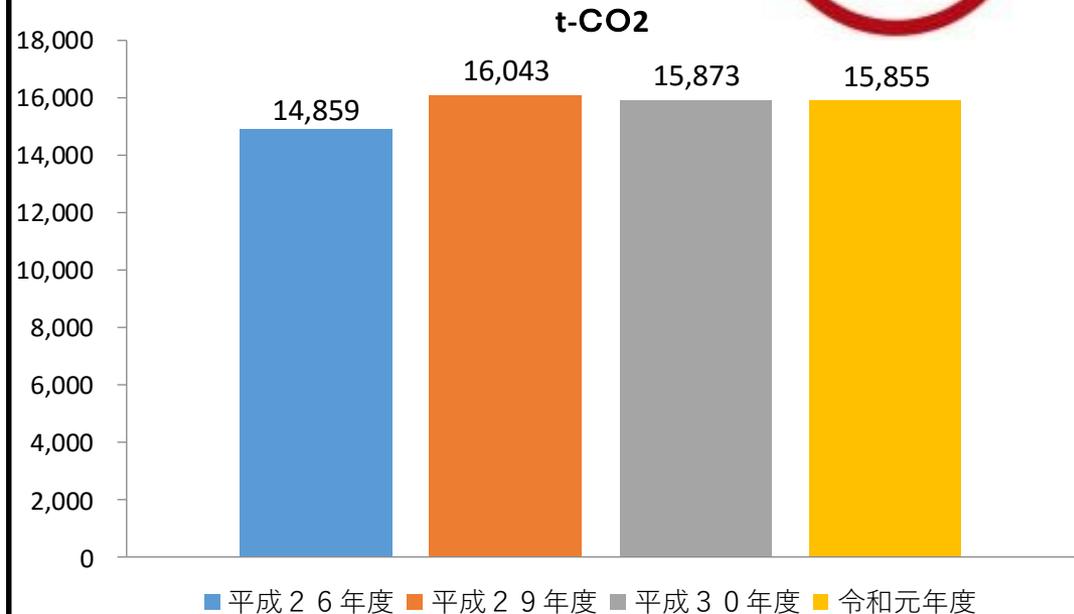
- ・全施設：5～6月・9～11月の中間期における空調使用の増加
- ・本庁舎：空気循環を促すための空調送風量の増加
- ・本庁舎：変則勤務実施による空調運転時間の延長  
(運転時間 H26：07：00～17：15, H29～：5：00～18：30(+3.25h))
- ・小中学校：増築・クラス数の増加に伴う空調設備新設, 特別教室への空調設備新設, 体育館への空調設備新設
- ・学童クラブ：施設の開設に伴う空調設備新設
- ・スポーツ施設：利用者の増加による空調負荷の増加

#### ②端末使用状況の変化

- ・本庁舎：マイナンバー対応に伴うセキュリティ対策によるPC端末の増加 (端末台数 H26：1,566台・H30：1,921台(+355台))

#### ③施設の増加

- ・学童クラブ：施設数増加(29⇒40か所 11か所増)
- ・障害者施設：H28年度建替えによる規模の増加
- ・クリーンセンター：H30年度建替えによる規模の増加
- ・佐須農の家：H28年度新設
- ・防災倉庫新設：H28年度新設
- ・はしうち教室：R01年度新設
- ・小中学校：増築



基準値

※CO<sub>2</sub>換算係数は、第3次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に掲載している数値を各年度共に使用

目標未達成：  
基準値に対して  
6.7%増

各課共通項目

環境確保条例に係る

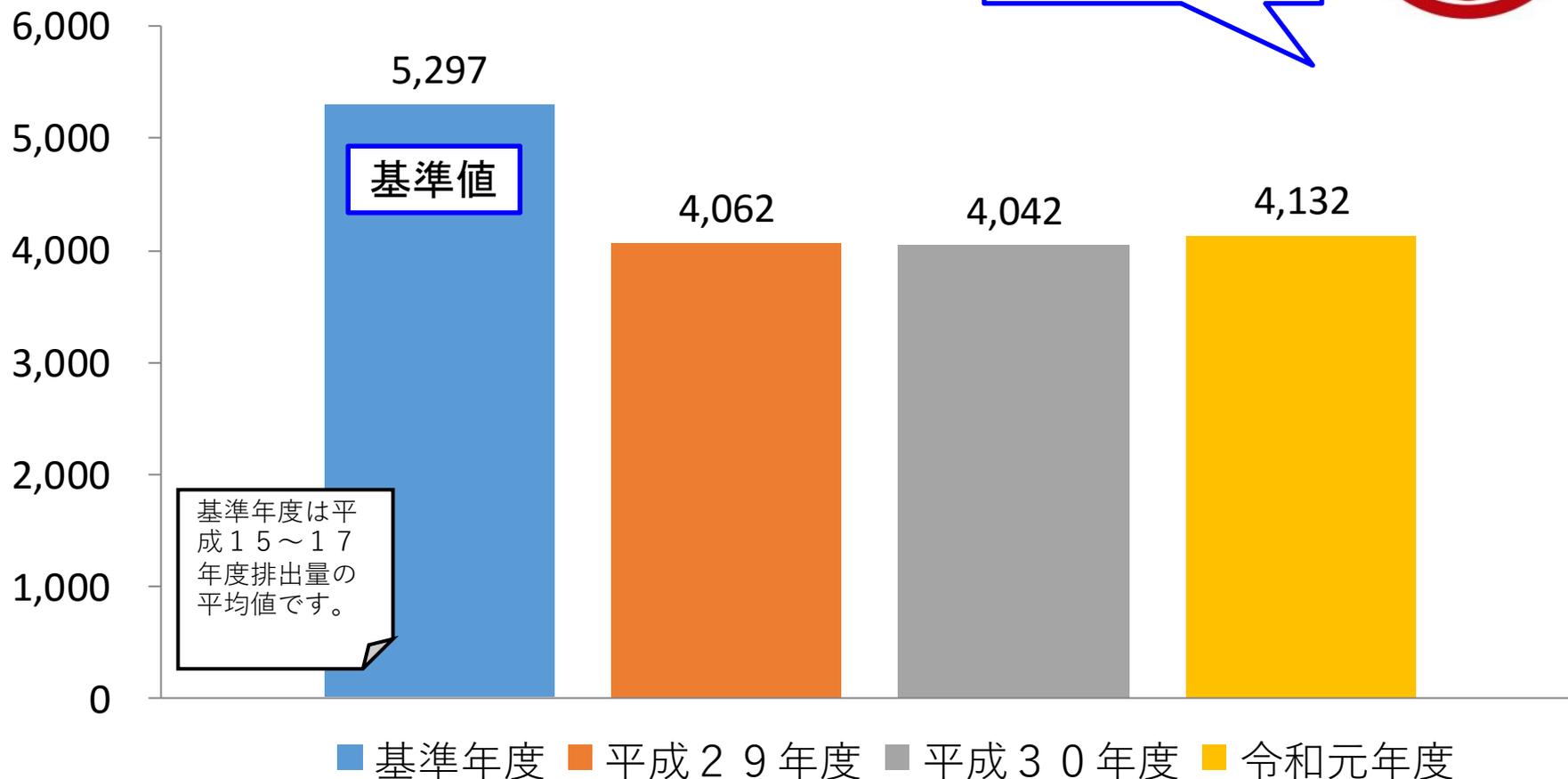
CO2排出量削減

目標：H15～H17年度平均におけるCO2排出量  
(5,297t-CO2)から17%以上削減

目標達成：  
基準値に対して  
22.0%減



t-CO2

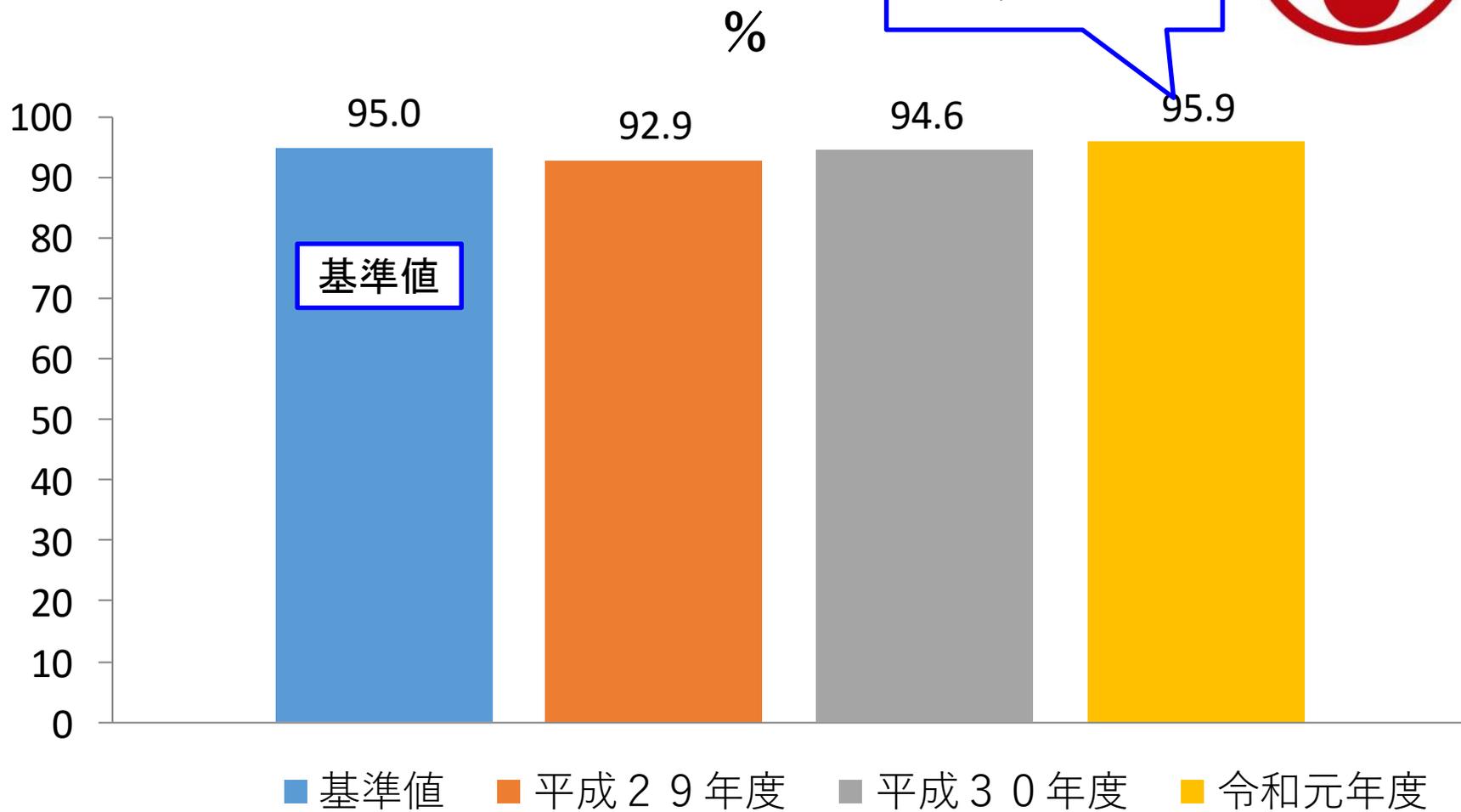


各課共通項目

目標： グリーン購入率を95%以上にする

# グリーン購入

目標達成：  
グリーン購入率  
95%以上



管財課項目

# 電気

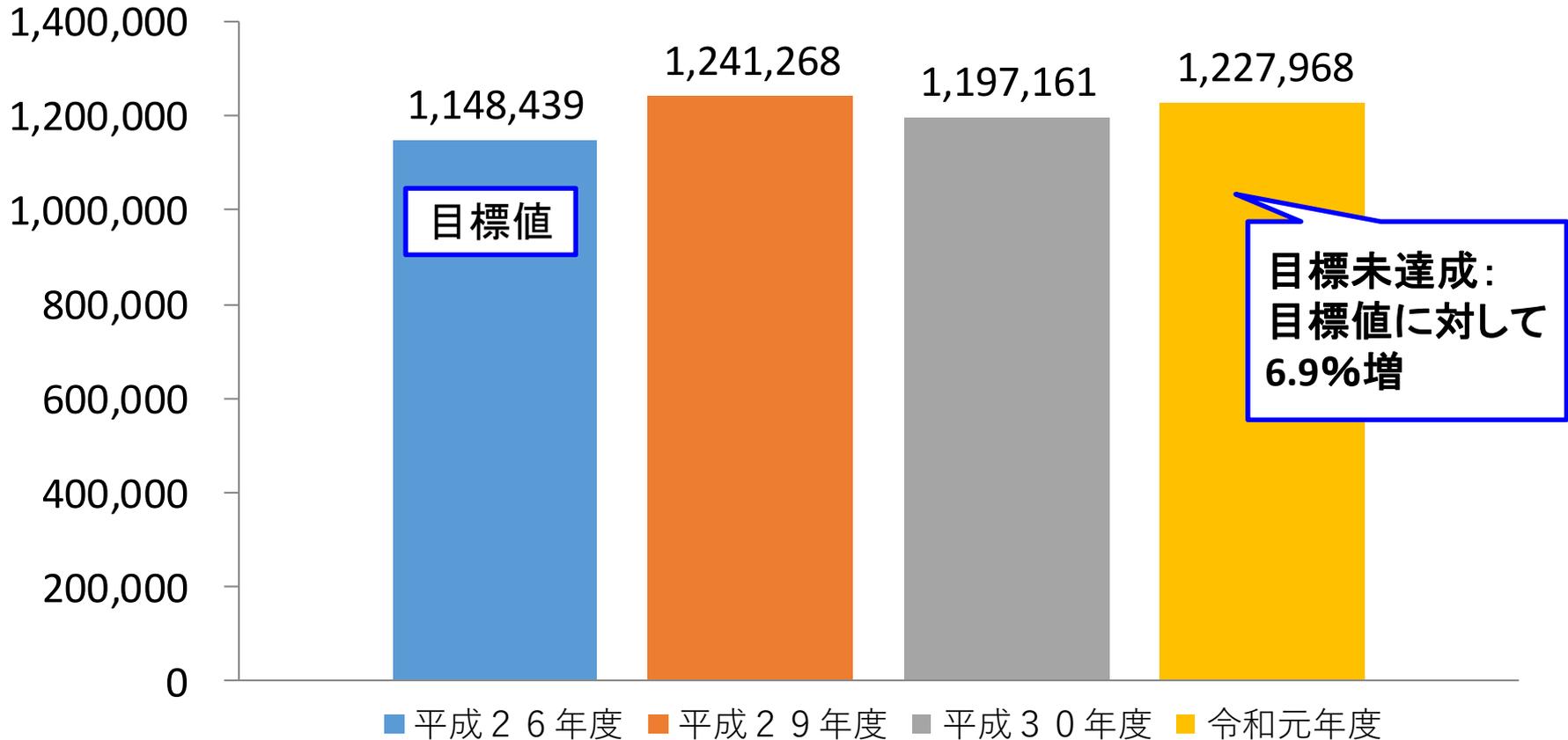
目標：H26年度における電気使用量 (1,148,439kWh)  
を上回らないようにする

【平成26年度と比較したエネルギー使用増加要因】

- ・空気循環を促すために空調の送風量を増加したこと
- ・変則勤務実施による空調運転時間を延長したこと
- ・マイナンバー対応に伴うセキュリティ対策によるPC端末を増やしたこと
- ・免震改修工事に伴う空調機の使用増による電気使用量が増加したこと



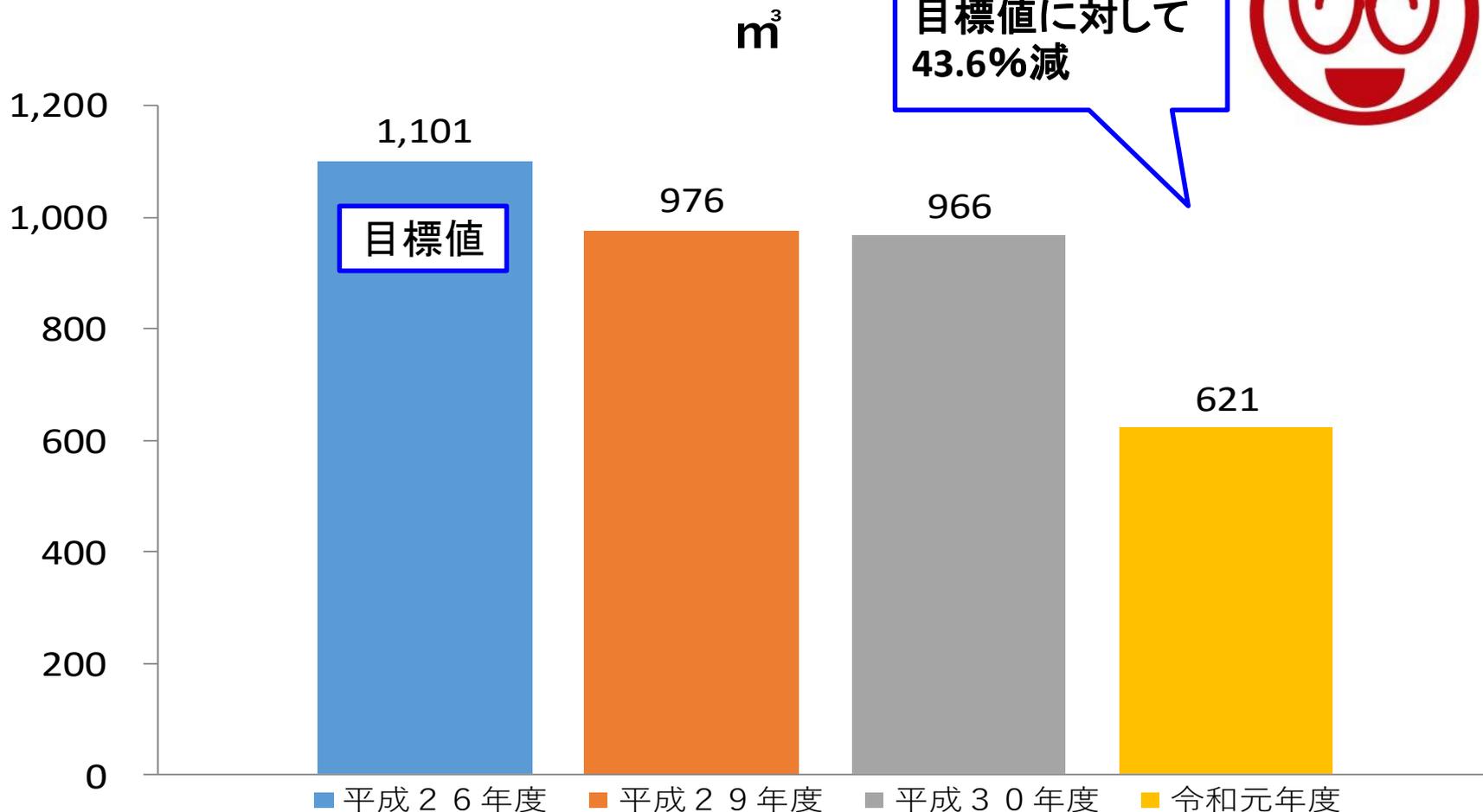
kWh



管財課項目

# ガス

目標：H26年度におけるガス使用量 (1,101 $\text{m}^3$ )を  
上回らないようにする

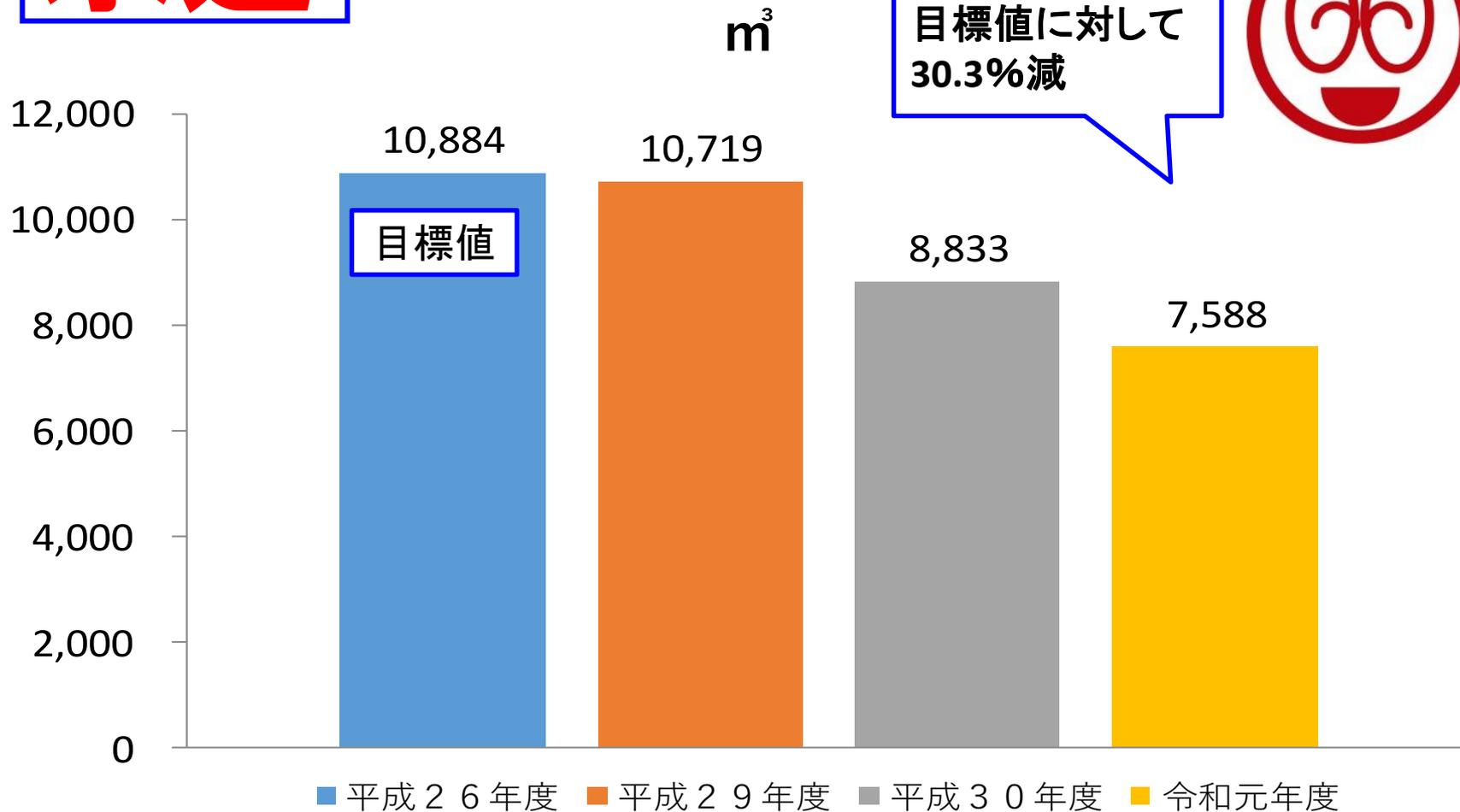


管財課項目

# 水道

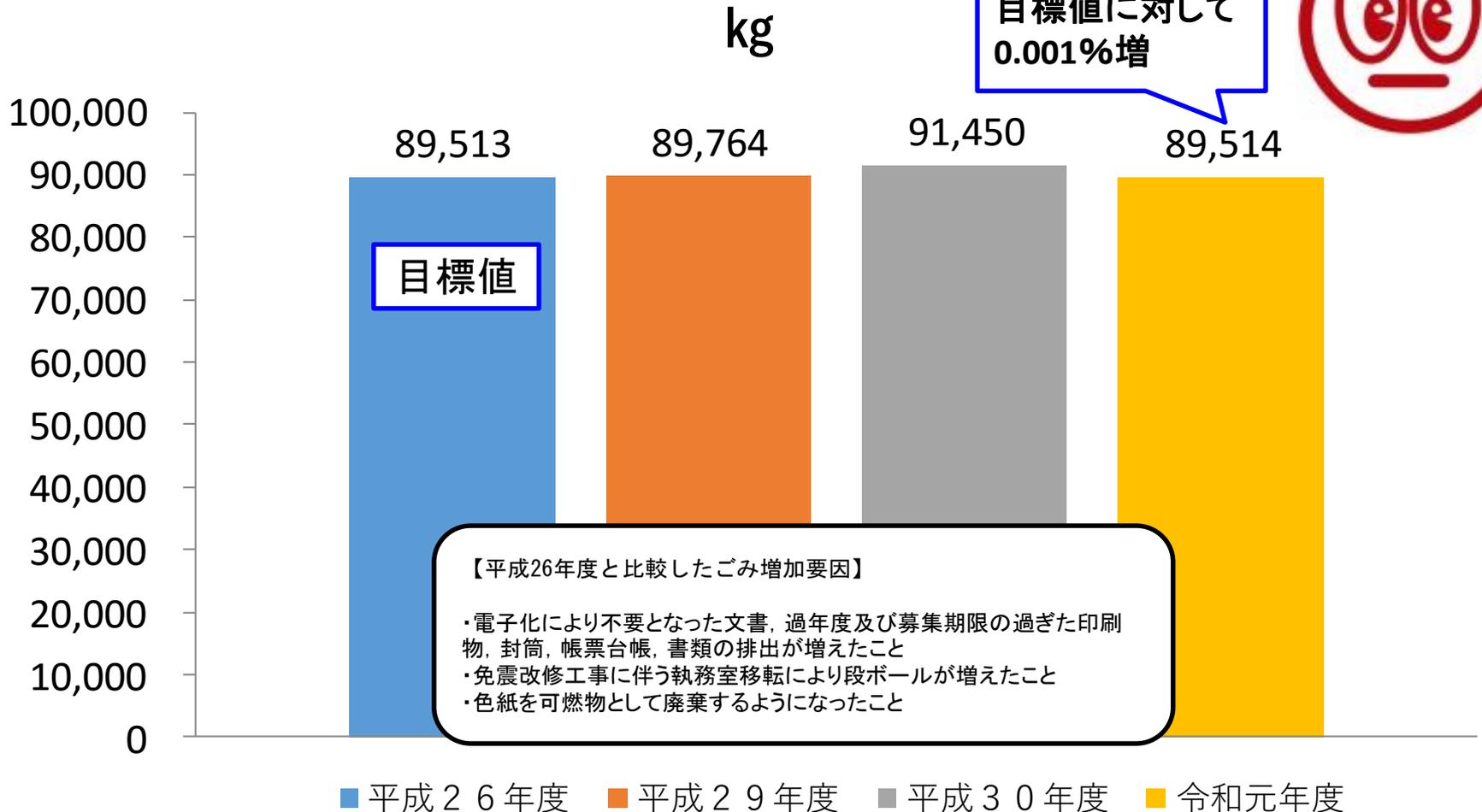
目標： H26年度における水道使用量 (10,884 $\text{m}^3$ )を  
上回らないようにする

目標達成：  
目標値に対して  
30.3%減



# 可燃物排出量

目標：H26年度における可燃系ごみの排出量  
(89,513kg)を上回らないようにする



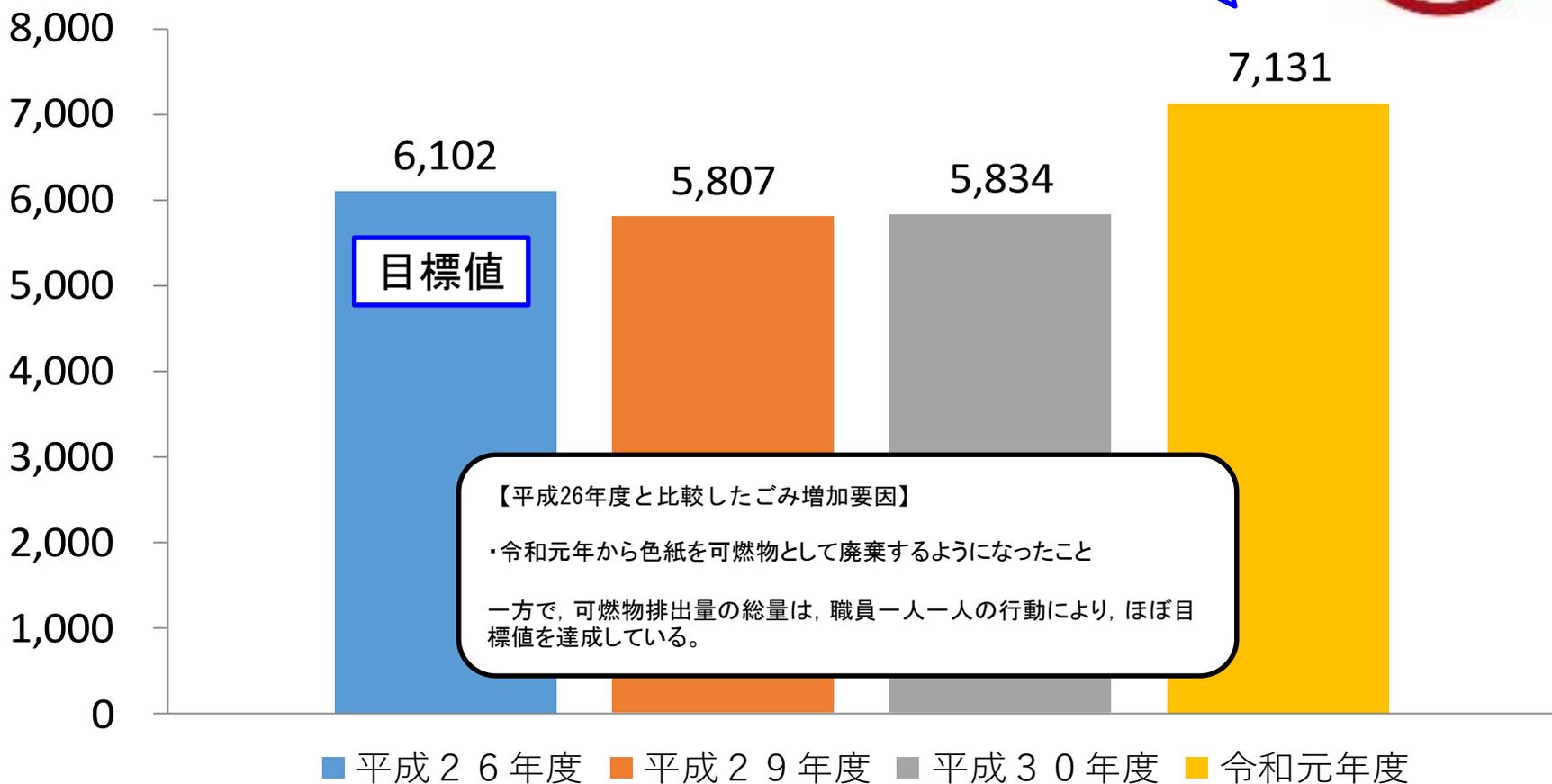
目標：H26年度における資源化に適さない可燃物排出量(6,102kg)を上回らないようにする

# 資源化に適さない 可燃物排出量

目標達成：  
目標値に対して  
16.9%増



kg



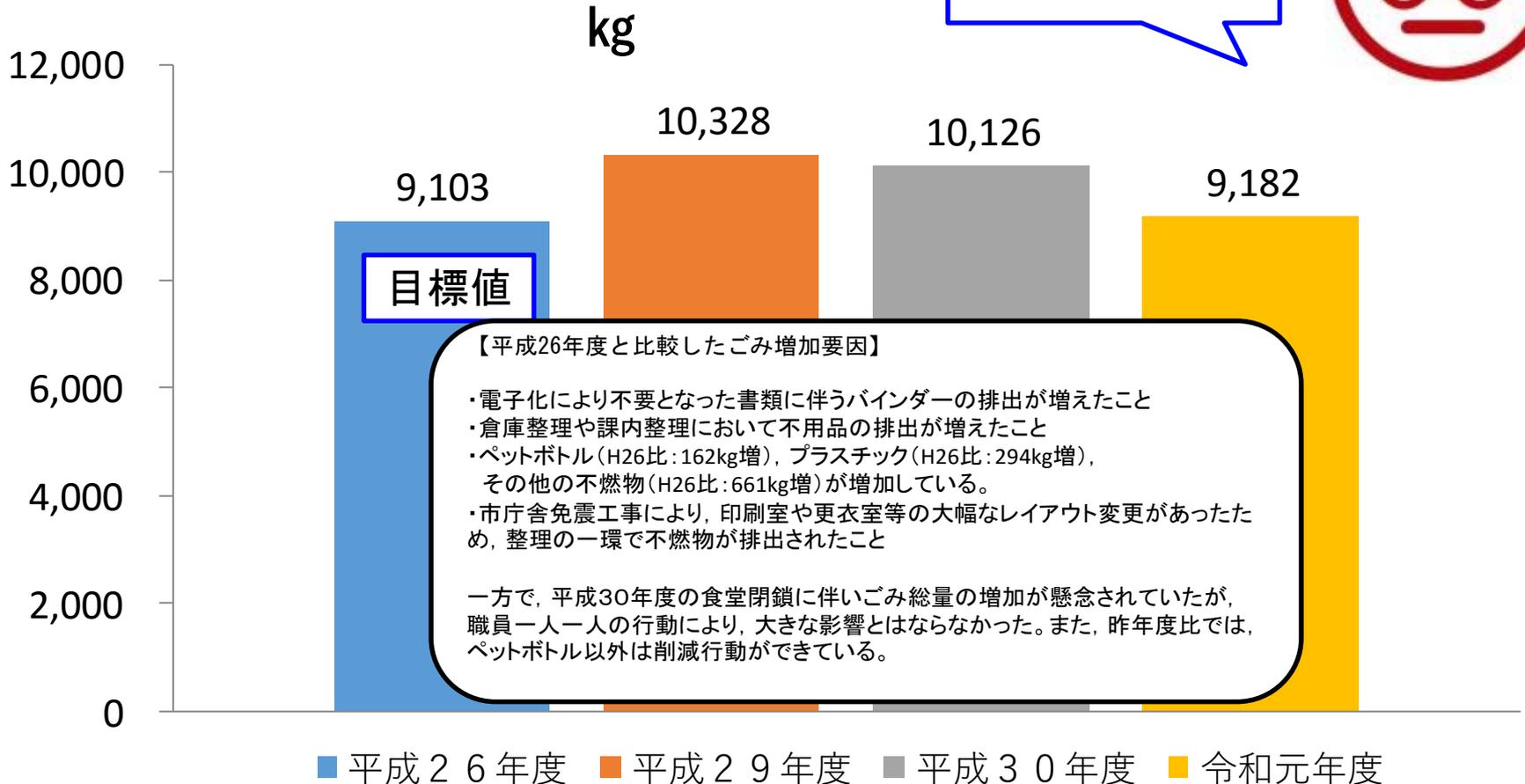
目標値

【平成26年度と比較したごみ増加要因】  
・令和元年から色紙を可燃物として廃棄するようになったこと  
一方で、可燃物排出量の総量は、職員一人一人の行動により、ほぼ目標値を達成している。

目標：H26年度における不燃系排出物排出量(9,103kg)を上回らないようにする

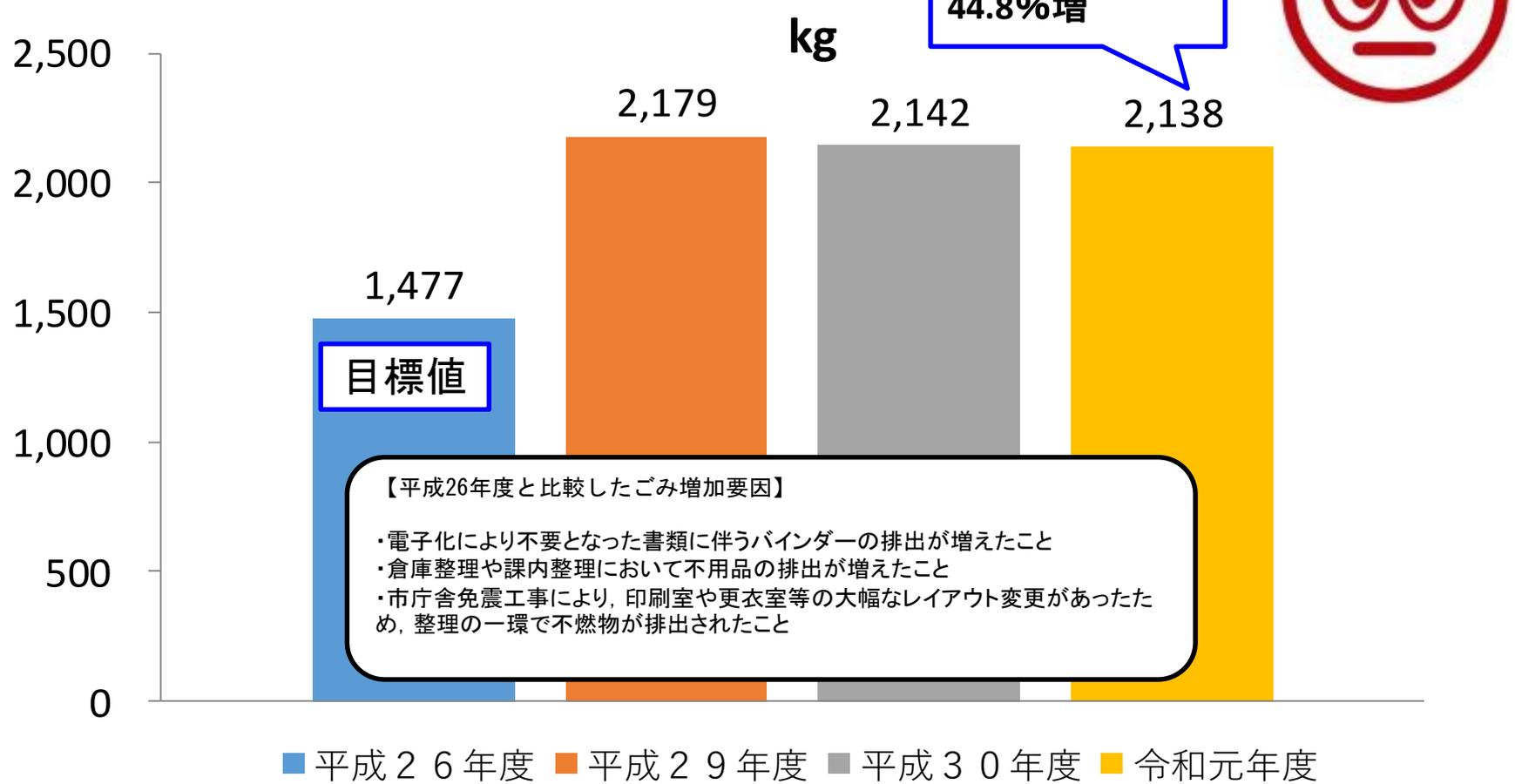
# 不燃物排出量

目標未達成：  
目標値に対して  
0.9%増



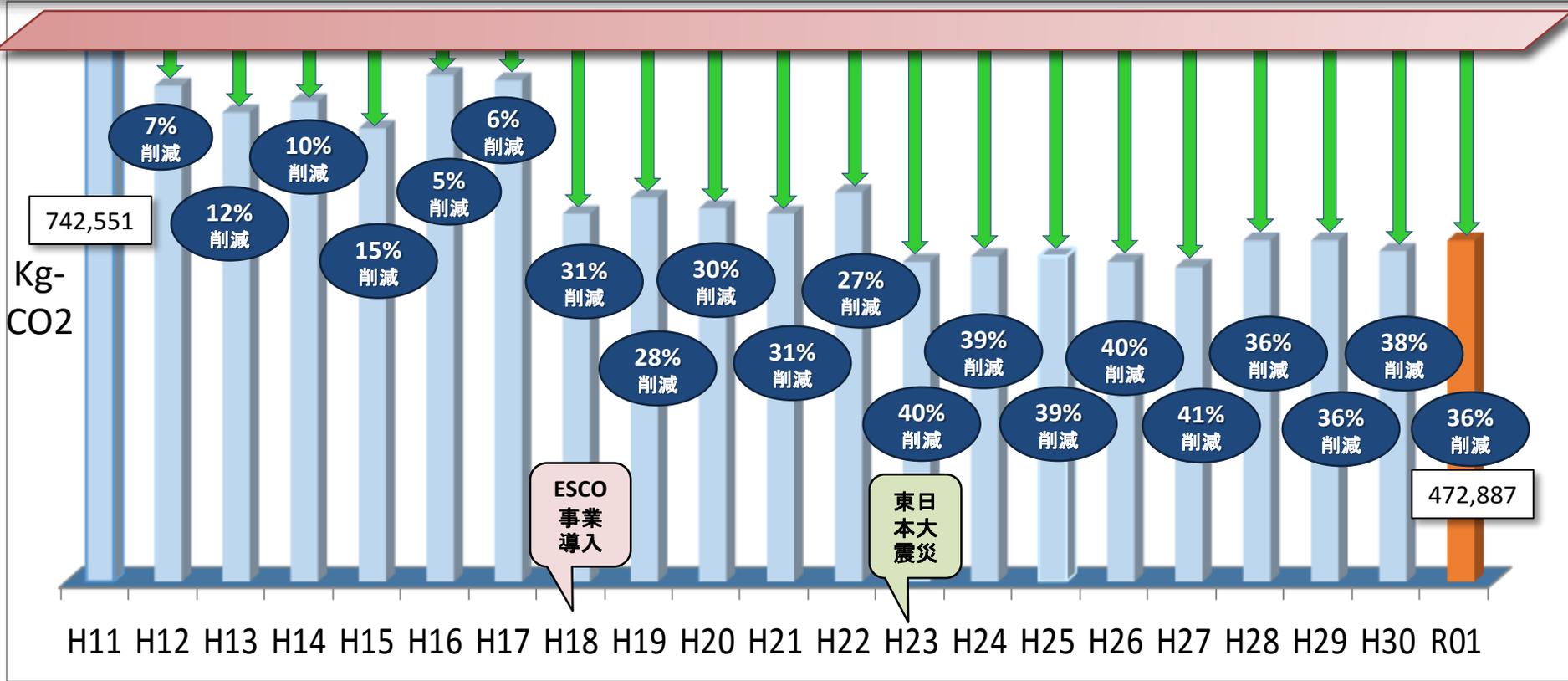
目標：H26年度における資源化に適さない不燃物排出量(1,477kg)を上回らないようにする

# 資源化に適さない不燃物排出量



# 本庁舎の光熱使用量を二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量に換算した結果

(ISO14001環境マネジメントシステムの導入前の平成11年度と比較した削減効果)



◆令和元年度は、平成11年度比36%のCO<sub>2</sub>排出量削減

◆平成12年度から令和元年度までの累計で、4,050,000kg-CO<sub>2</sub>削減

この累計CO<sub>2</sub>削減量は、杉の木約29万本/年のCO<sub>2</sub>吸収量に相当

大きく成長した杉の木(50年で、高さが約20~30m)は1年間で平均して約14kgのCO<sub>2</sub>を吸収するとされている。

